

# ★★教育コンソーシアム 参加校募集★★

## - 電気学会東京支部 -

■(一社)電気学会東京支部では『教育コンソーシアム』を設立し、寄附講座を開講しています。

- 設 立：2009年
- 目 的：大学院生に専門性の高い最先端の電気技術を学ぶ機会を提供
- 対 象：教育コンソーシアム加盟大学の大学院生

■講座は電力システム関連の2講座でオムニバス形式の夏期集中講座です。

- 講 師 陣：大学・研究所・企業の最新の電気技術それぞれの専門家  
(システム製品開発に携わる企業経験者も参加)
- 講座の特色：電力システムの理論～システム開発の実際まで、幅広い専門家から直接習得できる貴重な機会
- 受講生の声：これまで受講した学生からも高い評価獲得

■多くの学生が寄附講座を受講できるようになることを希望しています！是非とも、教育コンソーシアムへの加盟をご検討お願い致します。

### ◆参加校のメリット◆

- 講師費用など、実施に関わる経費は電気学会が負担します。
- 成績および単位の付与は、担当講師の評価を参加校へ提供し、参加校の規定により行います。

### ◆参加条件◆

- 東京支部と大学との間で教育コンソーシアム加盟の協定書を締結して頂きます。
- 教育コンソーシアムの運営委員として1名選出し、講義テーマや講師選定等に関わって頂きます。

## \*\*\*\*\*平成27年度寄附講座の実施概要\*\*\*\*\*

### ◆講座1：電力系統解析に関する講義 (15コマ)

日 時：平成27年8月3日(月)～8月6日(木) 場 所：明治大学中野キャンパス

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
	9:00-10:30	10:40-12:10	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
8月3日	オリエンテーション (森啓之[明大])	電力システムのセキュリティコントロール (田村滋[明大])	電力システムの状態推定 (田村滋[明大])	配電システムの自動化1 (福山良和[明大])	配電システムの自動化2 (福山良和[明大])
8月4日		電力システムの動態安定度解析 (熊野照久[明大])	電力システムの過渡安定度解析 (熊野照久[明大])	電力システムの電圧安定度解析 (伊庭健二[明星大])	電力システムの経済負荷配分 (伊庭健二[明星大])
8月5日		送電システムの信頼度評価 (永田真幸[電中研])	電力負荷予測 (飯坂達也[富士電機])	電力システムの発電機起動停止問題 (久保川淳司[広島工大])	電力システムの最適潮流計算 (久保川淳司[広島工大])
8月6日			テスト・アンケート (熊野照久[明大])	まとめ (熊野照久[明大])	

### ◆講座2：最近の電力システムの技術に関する講義 (15コマ)

日 時：平成27年8月18日(火)～8月21日(金) 場 所：明治大学駿河台キャンパス

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
	9:00-10:30	10:40-12:10	13:00-14:30	14:40-16:10	16:20-17:50
8月18日		オリエンテーション (熊野照久[明大])	スマートグリッド (山口順之[東京理科大])	Demand Response (山口順之[東京理科大])	
8月19日		競争環境下の電力システムの運用 (澤敏之[日立製作所])	競争環境下の電力システムの計画 (澤敏之[日立製作所])	分散型電源と電力システムの自由化 (岡田健司[電中研])	電力システムの自由化の歴史 (岡田健司[電中研])
8月20日		電気自動車 (石田隆張[明星大])	風力発電予測 (飯坂達也[富士電機])	エネルギー問題と再生可能エネルギー (加藤政一[東京電機大])	再生可能電源導入可能量の確率的評価 (加藤政一[東京電機大])
8月21日		PMUの電力システムへの応用 (浦野昌一[明大])	電力システムのビックデータ解析 (森啓之[明大])	テスト・アンケート (森啓之[明大])	まとめ (森啓之[明大])

<問い合わせ先>

一般社団法人電気学会 東京支部事務局 // Tel : 03-3221-7312 E-mail : tokyo-cp@iee.or.jp

## ～～ 受講生の声 ～～

(講座後のアンケート結果より抜粋)

### ◆講座1：電力系統解析に関する講義

- ・最新の研究内容を知ることができた。著名な技術者、研究者の話が聞けるのは非常に良い。ただ、電力以外の人間だと用語が少し難解。
- ・基本的な知識のみならず、興味を持てる内容も見つけることができたので良かった。
- ・自分の研究分野は電力系とは全く関係のない分野（生命系）であるため、難しく感じた部分も多くあったが、学べたこともとても多く、非常に有意義だった。
- ・実際に会社に携わっていた人が多くいたので、より深く知ることができた。
- ・実際に、今の現場の人たちからの話が聞けて現状の問題点などが知ることができた。
- ・幅広く学ぶことができてよかったです。
- ・さまざまな内容の、最新のトピックスや今までの研究に触れる事ができ満足だった。
- ・内容もわかりやすく、電力について興味を持ちました。将来、電力系の職種に就こうかと思っているので、講義を受けることができて良かったです。
- ・送電、配電などについては知識があまりなかったので、大変勉強になった。まとめてシステム全体の評価をしてくれたので、理解が深まった。
- ・電力システムについて幅広い分野で授業をしていただいたので、よかった。

### ◆講座2：最近の電力システムの技術に関する講義

- ・たくさんの先生から上記（注：システムに関するさまざまな研究や最新のトピックス、現在の電力業界の流れなど）のようなお話や想像もしていなかったようなものまで聞けてよかった。
- ・今までの歴史や今後の展望など様々な情報が聞けた。
- ・既知の情報に加え、新たな知識を得ることでより深く理解することができた。
- ・非常にタイムリーな内容が多く、満足できた。
- ・今後の電力事情や、技術についてよく知ることができました。
- ・電力のことから情報分野のことまで幅広く勉強できた。
- ・よく理解でき、今後に生かすことができそうに思えた。
- ・すばらしい。今まで工学的なことしか考えてなかったが、社会の状況や、経済など、他の視点にも目を向けなければという、モチベーション（危機感）を得られた。今後の就活にも大きく関係する授業だった。
- ・エネルギーの中でも様々な種類の話が聞けたのでよかった。
- ・過去から現在やらなければいけない課題を知ることができて満足です。

**受講した学生から高い評価を得ている寄附講座です。**

**是非、教育コンソーシアムへご加盟いただき、**

**学生の教育にご活用ください！**

## 電気学会東京支部電気工学教育コンソーシアム加盟に関する協定書（雛形）

電気工学分野の教育研究活動を活性化するため、電気学会東京支部は、電気学会東京支部電気工学教育コンソーシアムを設立し、別紙の設立趣意書に賛同する大学（以下「加盟大学」という。）と本協定書を締結する。本教育コンソーシアムは、加盟大学に対し、電気工学に関連する大学院向けの寄附講座を提供する。本教育コンソーシアムの運営は、電気学会東京支部及び加盟大学の担当者からなる教育コンソーシアム運営委員会（以下「運営委員会」という。）が行い、本教育コンソーシアムの運営及び寄附講座の実施についての細則は、電気学会東京支部及び教育コンソーシアム運営委員会において別に定める。

## 「電気学会東京支部電気工学教育コンソーシアム」運営及び寄附講座実施に関する細則

電気学会東京支部電気工学教育コンソーシアム加盟に関する協定書に基づき、本協定の加盟大学は、それぞれの大学院の研究科において、本コンソーシアムの運営及び寄附講座の実施について、この細則により実施するものとする。

## （教育コンソーシアム運営委員会）

1. 電気学会東京支部は教育コンソーシアム運営委員会を設置する。
2. 加盟大学は、運営委員会委員を1名選出する。
3. 運営委員会では、寄附講座に関する講義内容及び担当講師の選定を行う。なお、担当講師の選定にあたっては、大学院の講義担当であることを十分に配慮して行うものとする。
4. 当番大学を定め、各種会議及び寄附講座の実施などの世話を行う。

## （寄附講座実施）

5. 寄附講座は当番大学の施設において、夏期休暇期間等を利用し、1講座2単位のオムニバス形式の集中講義として実施する。なお、教室手配等講義実施に必要な事項は当番大学において準備を行う。
6. 加盟大学は寄附講座に対応する大学院科目を設置し、その大学院科目のコーディネーターを選任する。
7. 当番大学は寄附講座に対応する大学院科目を設置するにあたり、当番大学が定める規定に従い、寄附講座担当講師の任用手続を行う。
8. 当番大学は寄附講座終了後、講義実施報告書を作成し運営委員会へ報告を行う。

## （寄附講座の履修申込）

9. 履修申込は加盟大学が定める規定により行う。
10. 加盟大学において当該寄附講座の履修者があった場合、履修者名簿を運営委員会を通じて当番大学へ報告する。
11. 当番大学は、加盟大学より報告があった履修生の講義参加を認めるものとする。
12. 寄附講座受講にあたっての履修料は無料とする。

## （成績の付与）

13. 成績及び単位の付与は加盟大学が定める規定より行う。
14. 採点表への評価の記載は素点により行う。
15. 当番大学は担当講師の評価を取りまとめ、加盟大学に通知する。

## （開講期間）

16. 寄附講座の開講期間は、2009年度からの第1期3年間、2012年度からの第2期3年間に続き、2015年度から第3期3年間継続するものとする。2018年度以降の継続については、2017年度の運営委員会において決定する。

## （細則の改定）

17. この細則の改定については、運営委員会において承認、決定する。

## （その他）

18. 本コンソーシアムの運営及び寄附講座の実施にかかる経費については、電気学会東京支部が負担する。
19. この細則に定めのない事項については、運営委員会において承認、決定する。